

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会を活かした取り組み。利用者の様子がわかる場所で会議開催したり、医療、警察、消防職員など話題提供のゲストを招く工夫や、災害発生時の地域協力体制の構築に向けた、検討なども期待したい。	医療、警察、消防職員等や地域の方々との交流がもてる。	来署し災害発生時に関して指導を仰ぎ、事業所内で周知させ、その延長線上で運営推進会議への参加を打診したい。	6ヶ月
2	33	重度化や看取りに関しては、グループホームとしても今後、避けられない課題である。他事業所での実施例などを学習するなど、職員の知識向上や、職員の意識統一が図られることを期待したい。	終末期や看取りについて、職員全員が身近な事として意識できること。	重度化、終末期、看取りについてグループホーム内で勉強会を開く。可能であれば事例を取りいれ、参考にする。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。